ポルトガル編　Part 1：
モノと車両のシームレスなネットワーク接続を可能にしたVeniam

João Barros
CEO, Veniam

JOI Venturesポルトガル編Part 1をお届けします。JOIとポルトガル投資貿易振興庁（aicep）がタイアップして、日本でのビジネス拡大、日本企業との連携・協業を模索する、次世代を担う有望なベンチャー企業を紹介します。

今号は、これまで困難だった移動体向けメッシュネットワークにおける通信経路決定を可能とするアルゴリズムを開発、実用化したVeniam社です。自動車などの移動体同士や移動体・モノ間の通信に適したメッシュネットワークを実現しています。マウンテンビュー（カリフォルニア州）に本社、ポルト（ポルトガル）にエンジニアリングセンターをおくグローバル企業です。CEOのBarros氏にうかがいました。

これまでの歩みについてお聞かせください

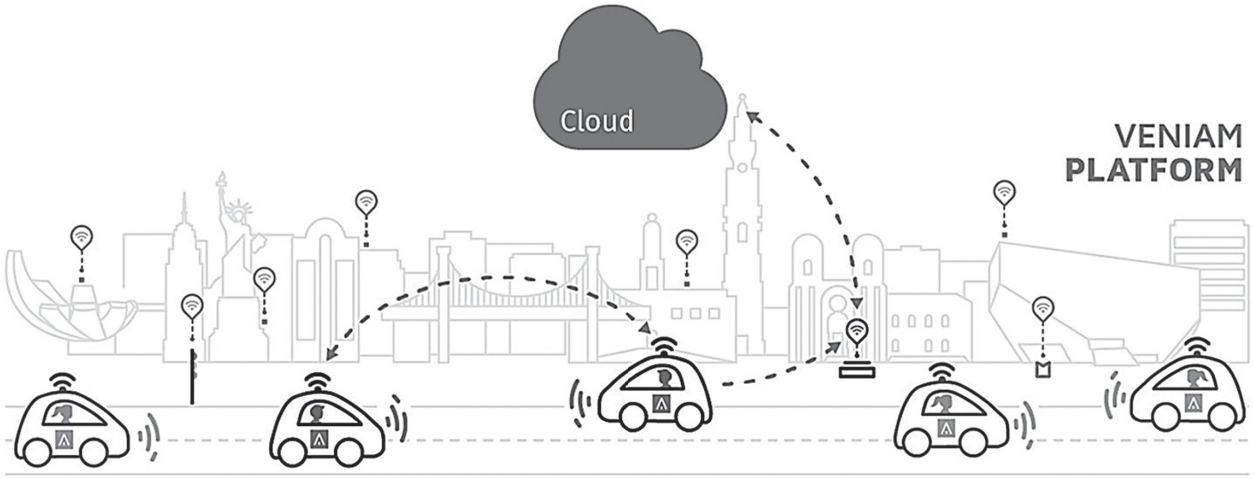
2012年３月に、スザナ・サルゲント（EU Woman Innovator 2016）、アメリカ人起業家のロビン・チェイス、ロイ・ラッセルとともにVeniamを設立しました。

ポルトガル第二の都市ポルトでのリビングラボで、コネクテッドカーによる世界最大規模のメッシュネットワークを構築しました。Veniamのインテリジェント・ネットワーキング・プラットフォームにより、600台以上のバスやタクシー、ごみ収集車などの車両をWi-Fiホットスポット、モバイルセンサーとして活用できるようにし、市民や観光客にシームレスな無料Wi-Fiを提供しています。

このリビングラボが成功したことで、ベンチャーキャピタルから4500万ドルの資金調達に至り、Veniamのインテリジェント・ネットワーキング・プラットフォームを市場にもたらすことができました。

シンガポール、ニューヨーク、ミシガン州アナーバーでもメッシュネットワークを構築し、また、世界屈指の自動車企業やTier1サプライヤーにもサービスを提供しています。

ポルトのリビングラボでは、われわれの目指す「動くモノのインターネット－Internet of Moving Things（IoMT）」を実現できましたが、最もチャレンジングなことは、ポルト市や、商用車の運行管理者、通信事業者などすべてのプレーヤーに正しいバリュー・プロポジション、ビジネスモデルを提案することでした。



また、無線メッシュネットワークの活用には、街中のゴミ箱にセンサーとWi-Fiを搭載しゴミの容量に応じて回収時期を検知する、車載センサーから道路補修の必要な場所を特定する、渋滞情報、大気汚染や微気候の情報収集など、スマートシティの構築に向けたさまざまな可能性が期待されています。

180以上もの特許を取得しているとのことですが、Veniamの強みは何でしょうか。また、Veniamの技術はどのように使われているのでしょうか

われわれの強みは、インテリジェント・ネットワーキング・ソフトウェアです。企業は、あらゆるワイヤレスネットワーク（4G/5G、Wi-Fi、V2Xなど）を最大限に、そしてあたかもひとつのネットワークのように活用し、これまでに比べわずかなコストで10倍以上のデータを送受信できます。もちろん、通信サービスに加え、通信機器、コネクション管理、データ管理、ポリシー管理、セキュリティ管理（プライバシー、匿名性）を含むオールインワンソリューションも提供しています。

Veniamの技術は、モバイルWi-Fiオフロード（携帯電話通信網の利用に比べ50～80%のコスト削減が可能）、テレマティクスサービス（車両のGPS機能搭載機器やカーナビをネットワークに接続し、情報管理、関連サービスを提供すること）、ドライブレコーダー、産業用デバイス、コネクテッドカーや自動運転車両などで、主に利用されています。

パートナー企業についてお聞かせください

日本企業では、戦略的投資ビジョンのもとヤマハ発動機、スパークス・グループが、Veniamのパートナーとしてビジネスを始めています。ヤマハ発動機は、当社への200万ドルの出資を通じて、つながるモビリティに関する新しい技術や商品、そしてサービスの企画と開発につなげようとしています。

また、Veniam は Verizon Ventures、Cisco Investments、Liberty Global、USV、True Ventures、Orange Digital Venturesなど名だたる投資家からも出資を受けています。

さらに、Carnegie Mellon、MIT、University of Portoなどとも協力関係にあります。

将来に向けたビジョンをお聞かせください

Veniamのビジョンは、IoMTのネットワークを構築していくことです。これは、すべてのコネクテッドカー、自動運転車、ドローン、ロボットなどさまざまな移動機械が、相互に、あるいはクラウドに、データを共有することによって、安全性を高め、移動をスムーズにし、すべての人の生活のクオリティを高めるものです。

また一方で、気候変動によって起こりうる事象に立ち向かっていくことも重要な使命だと考えています。

お問い合わせ

JOI事業企画部
E-mail: bd@joi.or.jp 、TEL: 03-5210-3311

João Barros, CEO
Veniam
https://veniam.com/

ポルトガル投資貿易振興庁（aicep）
東京オフィス　奥村 貴子
E-mail: takako.okumura@portugalglobal.pt
http://www.portugalglobal.pt